

インフォシス (NYSE: INFY) 2012 年度第 4 四半期および 2012 年度通期の決算を発表

第 4 四半期の売上高は前年比 1.4%増、2012 年度通期の売上高は 5.8%増

インド、バンガロール: 2013 年 4 月 12 日

ハイライト

国際財務報告基準(IFRS)に基づく 2012 年第 4 四半期の連結決算

- 2012 年度第 4 四半期の売上高は 19 億 3800 万米ドル
前年同期比で 1.4%増
前年比で 9.4%増
- 2012 年度第 4 四半期の税引き後利益は 4 億 4400 万ドル
前年同期比で 2.3%増
前年比で 4.1%増
- 2012 年度第 4 四半期の米国預託株式一株当たりの利益 (EPADS) は 0.78 ドル
前年同期比で 2.6%
前年比で 3.7%
- 取締役会は 2012 年度最終配当金 ADS1 株あたり 27 ルピー (1 米ドル 54.29 ルピーの現行為替レートの場合、最終配当金は ADS 1 株あたり約 0.50 米ドル) を提案。株式譲渡登録は 2013 年 6 月 1 日から 2013 年 6 月 15 日 (両日を含む) まで停止されます。
- 現金および現金等価物、売却可能金融資産、譲渡性預金および国債への投資から成る 2012 年度第 3 四半期の流動資産総額が 41 億ドルであったのに対し、2012 年度第 4 四半期の流動資産総額は 44 億ドルと増加した。

その他ハイライト:

- 当期中に新規顧客 56 社を獲得
- 当期中に社員 8,990 人増加 (純増 1,059 人)
- 2013 年 3 月末日現在で社員数 156,688 人
- 米国預託株式 (ADS) を NYSE Euronext (NYX) のロンドンとパリのマーケットに上場
- Infosys 3.0 戦略に沿って、製品、プラットフォーム、ソリューションに対し 1 億米ドル (約 95 億円) の投資を決定

「世界経済の不透明感は IT 業界にとって以前として厳しい状況です。」と、最高経営責任者兼代表取締役の S. D. シブラルは述べています。「当社は、お客様にとって最適で高品質な企業を築いていく、という戦略方針に従って、成長を続けています。これからも、マーケットで差別化するために必要な投資を行いながら、お客様に選ばれるパートナーとしてのポジションを確固たるものにしていきます。」

「世界の通貨市場では、不透明な経済状況を反映して、引き続き不安定な状態ですが、当社のヘッジ戦略によってそうした不安定さによる影響を最小限に留めています。」と、最高財務責任者のラジブ・パンサルは述べています。「現金および現金等価物が 44 億米ドルということからもわかるように、当社の財務状況は健全な状態です。」

業績見通し*

IFRS に基づく 2012 年度の見通し (連結):

- 売上高の前年比成長率は 6% から 10.0%となる見込み

* 主要通貨の為替レート: 豪ドル/米ドル 1.04、英ポンド / 米ドル 1.51、ユーロ / 米ドル 1.28

事業に関するハイライト

- 当社製品およびプラットフォームの売上は引き続き好調です。当四半期中、様々な業界および地域で 12 案件 (Finacle™を除く)獲得し、当社製品およびプラットフォームを採用している企業は 75 社を超えています。
- 当四半期は世界各地に拠点を増やし、ドイツのミュンヘンに新しいデリバリー・センター、米国のメトロ・アトランタ地域にオンショア運用センター、コスタリカのサンホセに BPO 子会社のデリバリー・センターを開設しました。
- コロンビア地区アクセス・システム(DCAS)の導入に対して、コロンビア地区から表彰されました。DCAS は当地区の健康保険取引所を提供する最先端の健康サービス・ソリューションです。これは医療扶助制度、プライベート健康保険、その他プログラムを対象とした新統合受給資格システムで、あらゆるプログラムや代理店を網羅した新案件管理機能を備えています。本システムを使えば、取引所のオンライン・マーケットプレイスから医療保険を購入する個人や家族、中小企業の保険入会に伴う受給資格を判断することができます。
- 新しい成長領域としてクラウドとビッグ・データへ重点的な取り組んできた結果が実を結び、現在クラウド事業部では 200 件のプロジェクトを実施中で、約 3,500 人の専門家を抱えています。当四半期中、クラウド・サービス、ビッグ・データ、セキュリティに関するプロジェクトを 10 件獲得しました。差別化ソリューションを備えた新しい成長領域への投資計画は、Infosys BigDataEdge への取り組みによってさらに強化されました。これは、ビッグ・データの分析という複雑な作業を簡略化して関連情報を見つけだすソリューションです。
- 企業が効率性を高め、顧客中心型にシフトする際にはモビリティが重要となります。当社は、お客様を支援してモビリティのビジネス・ポテンシャルを最大限に実現します。当期中、様々な領域(ビジネスおよびテクノロジー・コンサルティング、カスタマ・アウトリーチ、モバイル・マーケティング、フィールド・サービス、全社的効率化)に関して 18 件の新規プロジェクトを獲得しました。
- 当四半期中、インドと米国で 21 件の特許申請を実施。現在、インド、米国、その他の国々で 532 件の特許を申請中で、その内 84 件は米国特許商標庁から認可、3 件はルクセンブルグ特許庁から認可されました。

受賞および評価

- インフォシス・クラウド・エコシステム・ハブは最も革新的な製品およびサービスに対して贈られる 2012 年度の「金の孔雀」賞を受賞しました。
- Infosys Edge™について全国ソフトウェア・サービス企業協会 (NASSCOM)から有名なビジネス・イノベーション賞を受賞。
- 情報テクノロジーを使って社会事業、共済組合やビジネスの発展、さらに世界の変革に貢献したことを評価され、2013 年度の Computerworld Honors に入賞しました。
- 当社のエンタープライズ・モビリティ・サービスは、Forrester Wave™のエンタープライズ・モビリティ・サービスに関する 2013 年第 1 四半期報告書での格付けなど、様々なアナリストから高く評価されています。
- グローバル・アナリスト会社であるオーバム社は、Flypp™ デジタル・エクスペリエンス・プラットフォームについて、サービス、大型アプリケーション・リポジトリ(Google Play や App Store と比較して)、マネタイゼーション・プロセスの充実したエコシステムであると評価しています。
- 2013 年度 National Council for Work Experience (NCWE) で最高の賞を受賞し、英国最高のインターシップ・プロバイダーとなりました。

取締役会

レオ・プーリ氏が 2013 年 4 月 11 日付で当社の追加取締役に任命されました。年次総会までこの地位にとどまり、株主総会で取締役に承認されることになります。

プーリ氏は、マッキンゼー・アンド・カンパニーのアジア太平洋地域の金融機関部門におけるシニア・アドバイザーです。同社のシニア・パートナーであり、25 年間にわたって金融機関へのコンサルティング業務を行ってきました。2007 年から 2011 年までは、大手投資ファンド Warburg Pincus & Company の取締役を務め、インドやアジア市場の金融機関に対する投資を担当しました。

プーリ氏の実任就任を祝して、K. V. カマス会長は次のように述べています。「レオ・プーリ氏は、インド実業界の最も著名なリーダーです。彼は、コンサルティングにおける幅広い経験があり、多大な価値をもたらしてくれるでしょう。」

当社について

当社はグローバル企業の革新主導型成長を支援することで Forbes 社による「最も革新的企業 100 社」の 19 位にランクされています。当社は次世代型のコンサルティングからテクノロジー、エンジニアリング、アウトソーシングまで幅広いサービスを提供して世界 30 カ国以上のお客様に目標実現のお手伝いをしています。当社 (NASDAQ: INFY) に関する詳細は当社 web サイト (www.infosys.com/jp) をご覧の上、15 万 6 千人以上の社員による Building Tomorrow's Enterprise® の実現をご確認下さい。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2011 年会計年度 (2012 年 3 月 31 日付) 年次報告書 (Form 20-F) や 2011 年第 3 四半期 (2011 年 10 月 - 12 月期)、2012 年第 1 四半期 (2012 年 4 月 - 6 月期)、2012 年第 2 四半期 (2012 年 7 月 - 9 月期)、2012 年第 3 四半期 (2012 年 10 月 - 12 月期) の各四半期報告書 (Form 6-K) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

投資家関連

Avishek Lath, India
+91 (80) 4116 7744
avishek_lath@infosys.com

Sandeep Mahindroo, US
+1 (646) 254 3133
sandeep_mahindroo@infosys.com

メディア対応

Sarah Vanita Gideon, India
+91 (80) 4156 5007
Sarah_Gideon@infosys.com

Danielle D'Angelo, USA
+1 (510) 859 5783
Danielle_Dangelo@infosys.com

日本支店

安藤 穰 jo_ando@infosys.com
813-5545-3257

インフォシスリミテッドと子会社

無監査連結貸借対照表

(100 万ドル、株式データを除く)

	今年度第 4 四半期	前年度第 4 四半期
資産		
流動資産		
現金および現金等価物	\$4,021	\$4,047
売却可能金融資産	320	6
譲渡性預金への投資	-	68
売掛金	1,305	1,156
未請求収益	449	368
金融派生商品	391	300
前払費用とその他流動資産	19	-
流動資産合計	6,505	5,945
非流動資産		
有形固定資産	1,191	1,063
のれん	364	195
無形資産	68	34
売却可能金融資産	72	2
国債への投資	94	62
所得税金資産	201	204
その他非流動資産	44	32
非流動資産合計	2,034	1,592
資産合計	\$8,539	\$7,537
負債および資本		
流動負債		
金融派生商品	-	\$9
買掛金	35	5
未払法人所得税	245	207
前受金	6	3
前受収益	152	107
従業員給付債務	113	98
引当金	39	26
その他流動負債	568	482
流動負債合計	1,158	937
非流動負債		
繰延法人所得税負債	23	2
その他流動負債	27	22
負債合計	1,208	961
株式資本 額面価格 5 ルピー (0.16 ドル)		
発行済み株式 600,000,000 株		
2013 年 3 月 31 日現在 571,402,566 株		
2012 年 3 月 31 日現在 571,396,401 株		
自己株式 2,833,600	64	64
資本剰余金	704	703
利益剰余金	7,666	6,509
その他の資本構成要素	(1,103)	(700)
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,331	6,576
非支配持分	-	-
資本合計	7,331	6,576
負債および資本の合計	\$8,539	\$7,537

インフォシス リミテッドと子会社
無監査連結包括利益計算書

(100 万ドル、株式データ、一株当たり純資産データを除く)

	2012 年度 第 4 四半期	2011 年度 第 4 四半期	2012 年度	2011 年度
売上収益	\$1,938	\$1,771	\$7,398	\$6,994
売上原価	1,261	1,041	4,637	4,118
売上総利益	677	730	2,761	2,876
営業費用:				
販売費	96	91	373	366
管理費	124	111	479	497
営業費用合計	220	202	852	863
営業利益	457	528	1,909	2,013
営業外収益	125	131	433	397
税引前利益	582	659	2,342	2,410
法人所得税費用	138	196	617	694
税引後利益	\$444	\$463	\$1,725	\$1,716
その他の包括利益				
売却可能金融資産の公正価値の純変動	1	-	1	(2)
在外営業活動体の換算損益	74	244	(404)	(760)
その他の包括利益合計	\$75	\$244	\$(403)	\$(762)
包括利益合計	\$519	\$707	\$1,322	\$954
当期利益の帰属				
親会社の所有者	\$444	\$463	\$1,725	\$1,716
非支配持分	-	-	-	-
	\$444	\$463	\$1,725	\$1,716
包括利益合計の帰属				
親会社の所有者	\$519	\$707	\$1,322	\$954
非支配持分	-	-	-	-
	\$519	\$707	\$1,322	\$954
1 株当たり当期利益	0.78	0.81	3.02	3.00
基本的 1 株当たり利益 (ドル)	0.78	0.81	3.02	3.00
希薄化後 1 株当たり利益 (ドル)				
1 株当たり収益算定に使用される加重平均株式	571,402,566	571,392,171	571,399,238	571,365,494
基本的	571,402,566	571,399,573	571,400,091	571,396,142

注:

- 2012 年度第 4 四半期および 2012 年度 (2013 年 3 月 31 日付) の無監査の連結貸借対象表および損益計算書は、2013 年 4 月 12 日に取締役会にて記録されました。
- 当社の業績に関する概況報告書については www.infosys.com からダウンロードしてください。